

日本センチュリー交響楽団 岩国特別演奏会

～世界の医療従事者に届ける感謝の響き～

ヴェルディ:

歌劇「運命の力」序曲

ヴォーン・ウィリアムズ:

「グリーン・スリーヴス」による幻想曲

バーバー:

弦楽のためのアダージョ

リムスキー=コルサコフ:

スペイン奇想曲

ブラームス:

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調

2021.8.22(日)

15:00 開演(14:00開場)

シンフォニア岩国 コンサートホール

チケット発売日【一般・友の会同日】

6月11日(金) TEL:0827-29-1600(受付時間10:00～19:00)

※医療従事者の方は無料(ご招待)です。

詳細は後日ホームページ等にてご案内いたします。

チケット(全席指定)

一般 S席:5,000円(2,500円) / A席:4,000円(2,000円) / B席:3,000円(1,500円)

友の会 S席:4,500円 / A席:3,600円 / B席:2,700円

※()内は25歳以下の学生料金 ※未就学児の入場不可

※シンフォニア岩国のホームページでも購入可

【チケット販売】

●シンフォニア岩国

岩国:ふちだ楽器店 / 山口:山口県職員会館 コープサービス

周南:周南市文化会館 / 広島:エディオン広島本店プレイガイド

チケットぴあ(Pコード198-592) / ローソンチケット(Lコード61993)

※やむを得ず、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ヴァイオリン
中村 太地

©Ayane Shindo

指揮
飯森 範親

©山岸伸

管弦楽: 日本センチュリー交響楽団



日本センチュリー交響楽団
オフィシャル YouTube にて全世界生配信有り!!
(アーカイブ有)

主催: 公益財団法人日本センチュリー交響楽団 共催: シンフォニア岩国 指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ
後援: 山口県 / 山口県教育委員会 / 山口県文化連盟 / 岩国市 / 岩国市教育委員会 / 岩国市文化協会

お問い合わせ

シンフォニア岩国
〒740-0016 山口県岩国市三笠町 1-1-1

TEL 0827-29-1600
(受付時間10:00～19:00)

FAX 0827-29-1609
<https://sinfonia-iwakuni.com>



日本センチュリー交響楽団 岩国特別演奏会

～ 世界の医療従事者に届ける感謝の響き～

世界中が新型コロナウイルス感染症に見舞われてから1年半ほどが過ぎ、私たちの生活にも様々な影響を及ぼしています。中でも感染症と直接対峙している医療従事者の方々は心身ともに大きな負担を強いられながら任務にあたられています。

今回は日々ご尽力いただいている世界中の医療従事者の皆さんに感謝と敬意を込め、束の間のひとときを音楽で心癒してもらえますよう、飯森範親首席指揮者率いる日本センチュリー交響楽団が、山口県・岩国から“感謝の響き”をお贈りいたします。ソリストには北九州市出身・ブラームス国際コンクール覇者の中村太地が登場。会場にお越しいただけない方にはオンライン配信もご用意。

世界中を旅するような各国の音楽を是非お楽しみください!



©山岸 伸

指揮：飯森 範親 Norichika Iimori / Conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督（GMD）に着任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音するとともに、日本ツアーを成功に導いた。

国内では94年以来、東京交響楽団と密接な関係が続け、現在は特別客演指揮者。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビュー。06年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、07年より山形交響楽団音楽監督に就任し、そのエネルギー活動は高い評価を受けている。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者、2019年シーズンより山形交響楽団芸術総監督に就任。2020年1月より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、同年4月より中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者、2021年4月より東京ニューシティ管弦楽団ミュージック・アドバイザー（次期音楽監督）に就任。2020年10月、新国立劇場のシーズンオープニング公演であるブリテンのオペラ「夏の夜の夢」を指揮、好評を博し大成功を収めた。

オフィシャル・ホームページ <https://iimori-norichika.com/>



©Ayane Shindo

ヴァイオリン：中村 太地 Daichi Nakamura / Violin

北九州市出身。3歳でヴァイオリンを始める。高校卒業後ウィーンへ渡り、ウィーン国立音楽大学でM.フリッセンシュラーガーに師事。さらにベルギーのエリザベート王妃音楽大学でA.デュメイに師事する。

2004年若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール、12年ハチャトゥリアン国際音楽コンクール、14年クライスラー国際コンクール、16年ロドルフォ・リッピッツァー国際コンクールなど、権威ある国際コンクールで多数入賞及び特別賞受賞。2017年、第24回ブラームス国際コンクールで日本人初の優勝を果たす。

20歳の時にソフィア・フィルとの共演でヨーロッパデビュー。以来、ヨーロッパと日本を中心に演奏活動を行い、九響、セントラル愛知響、名フィル、新日本フィル、サンクトペテルブルク響などのオーケストラと共演するほかフィンランド・クフモ室内楽音楽祭に度々招かれ出演。また、サントリーホール、ザ・シンフォニーホール、響ホールをはじめとするホールでリサイタルを行っている。

2019年ビクターエンタテインメントよりデビューアルバム「ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ集」（ピアノ：江口玲）をリリース。使用楽器は1738年製ガルネリ・デル・ジェス“ソフィー・ハース”（北山コーポレーション・北山英樹氏より貸与）。

管弦楽：日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra



©Masaharu Eguchi

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する（2015年度、2018年度）など、演奏活動は高い評価を得ている。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」（豊中市）、「ルシオール街かどコンサート」（滋賀県守山市）等の地域連携事業にも力を入れている。

「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念をもとに、演奏を通して多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、新しい時代のオーケストラとしての発展を目指し活動している。

オフィシャル・ホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>



山口県民文化ホールいわくに

TEL.0827-29-1600 FAX.0827-29-1609
〒740-0016 山口県岩国市三笠町1-1-1
<https://sinfonia-iwakuni.com>

- JR岩国駅から南へ約800m（徒歩約10分）※ JR広島駅からJR岩国駅まで約50分
- 三笠橋バス停から徒歩約5分
- 山陽自動車道 岩国ICから車で約25分
- JR山陽新幹線 新岩国駅から車で約30分
- 岩国錦帯橋交差点から車（バス）で約5分 ※ 搭乗・到着に合わせてバスがあります。

※ 駐車スペースに限りがありますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
満車の場合は近隣の有料駐車場をご案内いたします。

